

野岸小だより



小諸市立野岸小学校NO.5
令和4年7月26日 発行
校長 丸山 穂

梅雨のような天気になったり、猛暑の夏のような気温になったりと忙しい天候です。それでも今年は、プール学習の時間もしっかり確保でき、事故なく終えることができました。明日から夏休みです。新型コロナの感染状況も心配ですが、充実した休みにしましょう。

参観日 7/1, 7/8

お忙しい中ご参観ありがとうございました。新しい学年になって3ヶ月が過ぎ、4月よりもグッと各学年らしさが増してきています。少し頼もしくなっていたのではないのでしょうか。今回は、懇談会ももつことができました。各クラス・学年でいろいろな話題が出されました。学校でも家庭との連携を大切にしながら進めていきたいと思っておりますので、今後も連絡を取りながら進めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

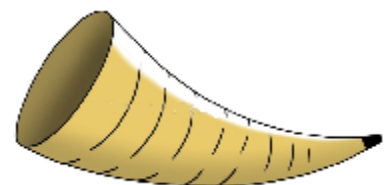


縦割り清掃

7/4～8まで、異学年の児童と一緒に清掃を行う縦割り清掃が実施されました。大きい子は、小さい子にやり方や気をつける場所を丁寧に教えます。小さい子は、やり方を見習って、綺麗にするよさを実感していきます。そんな姿を間近で見ながら、「本校の『学びや清掃』がこうやってつながっていくのだな」と思いました。手を取ってホウキの使い方を教える姿や、やり方を褒められてにっこりする笑顔など、素晴らしい場面にたくさん会えた1週間でした。

早川先生の音楽教室 7/21(木)

文化庁の事業で、音楽を通した子どもたちの育成を目的として実施されました。早川先生は、いつも管楽部の指導や音楽会での講評などで、子どもたちも親しんでいる方ですが、文化庁の依頼で、各地でこのような活動もしていらっしゃいます。1学期は、4年生がクラスごと実施していただきました。管楽器の大きさや音の高低、管の形による音色の違いなどを、実物を使って(角笛やお豆腐屋さんのラップも登場しました)楽しくお話ししていただいた後、実際に子どもたちも演奏しながら、音楽の楽しさに触れていくことができました。音楽の楽しさを知って、音楽で元気を出したり、意欲を高めたりするきっかけにしながら一生付き合っていってほしいとお話しされていました。子どもたちも、早川先生の話し方や話の内容に引きつけられて、いつの間にかノリノリで参加していました。新しい芽が、芽生えたかもしれませんね。



夏休みと新型コロナ対策

夏休みを前に、第7波が来ました。今回は、幼保小の子どもたちが多く、潜伏期間も短めで、急拡大しているといった印象です。感染予防対策は、夏休みも今までのように丁寧に実行していきましょう。特に、食事や運動などマスクを外す場面や換気の少ない場所での活動などには注意が必要です。休み中は、ご家族でのお出かけやお子さんだけになる機会も多くなるかと思えます。各自が気をつけることができるよう、声を掛け合っていきたいです。

休み中の感染状況を、学校としてつかんでおきたいので、もしも感染し、陽性者となった場合には、学校まで(日直不在の日は、学校携帯まで)お知らせください。

健康で、充実した夏休みを過ごしましょう。



学校目標と夏休み ～7/26 終業式の校長講話より～

子どもたちは、休み前に、一学期をふりかえり、二学期を思い浮かべながら、どんな夏休みにしようか考えていると思います。子どもだけになる場面も多くなることから、行動するとき、の3点を考えてみようとお話しました。

①安全か ②自分のためになるか ③人が喜ぶか(迷惑にならないか)の3点です。

少し抽象的ですので、ゲームをする場面を例にしてお話ししました。

やることを決めた子どもたちは、頑張った結果も意識してほしいと思い、学校目標にかかわってのお話もしました。本校には、「考える子ども・すなおな子ども・やりぬく子ども・じょうぶな子ども」という学校目標があります。この夏休みにやろうと決めたことは、学校目標とどんな関係があるのか考えてみましょうとお手伝いや勉強を例にお話ししました。



子どもたちのがんばりは、必ず学校目標につながり、その他の場面でも活かすことのできる力となって身につけていきます。「お手伝いで頑張ってるから、こんなこともできるようになったんだね」「あのことでがんばったんだから、きっとこれからやろうと思っていることも頑張れるよ」など、つけた力が活かされた場面も見つけてあげてください。また、休み中に頑張っていたことを、担任にもお知らせください。活かせる場面を創って、さらに伸ばしていきたいと思えます。



楽しく充実した夏休みを過ごして、
8月19日(金)に元気な笑顔で登校
してください。

